



すずらん内科クリニックもついに一周年を無事迎えることができました。

これもひとえに、皆様のおかげです。(毎回同じようなことを言ってますね、すみません(._.)≥)患者さんを始めとして、ご家族さん、ご近所さん、業者さん、スタッフさん、行政のみなさん、近隣の医療機関様(特に、自分の出身、あづみ病院様)・・・これまで支えていただいたことを心より御礼申し上げます。また今後も引き続き、ご愛顧いただけましたら幸いです。ご迷惑をかけたこともありました。いろいろあった一年間だったなあと感慨にふけっている院長です。

今回の記事は、今は下火になっている感じが、

溶連菌感染症について



- ✓ 溶連菌は、「溶血性連鎖球菌」の略です。
- ✓ 学童期のお子さんが感染しやすい病気ですが、大人もうつることがあります。また繰り返す方もいます。
- ✓ 潜伏期間は2～5日くらいです。主に飛沫(ツバなど)感染です。
- ✓ 溶連菌感染症の種類として、咽頭炎、扁桃炎、しょう紅熱、中耳炎、副鼻腔炎が代表的ですが、皮膚では伝染性膿痂疹、蜂窩織炎、丹毒もあります。他、肺炎、菌血症も起こりえます。「劇症型溶連菌感染症」もあり、致命的な病気ですが、通常咽頭炎からではなく、皮膚の傷口からの感染が発症の契機になるようです。
- ✓ 典型的な溶連菌感染症は、突然38-39度の高熱とともに咽頭痛が出現します。初期から咳や鼻水は少ないようです。のどの奥は赤くなり、扁桃腺が腫れたり、白いウミが付くこともあります。「イチゴ舌」と言い、舌に赤いブツブツができることがあります。皮膚症状として、やはり赤いブツブツが出ることがあります。この場合、「しょう紅熱」と呼ばれます。感染のピークを過ぎると、皮がむけてくることがあります。
- ✓ のどの奥に綿棒を入れ、粘液を採り、検査をすることができます。10分程度で判定できます。
- ✓ 通常の「風邪」とは違い、後遺症を残すことがあります。心膜炎(リウマチ熱・弁膜症)や心筋炎、慢性糸球体腎炎(その後腎不全)、アレルギー性紫斑病が挙げられます。

- ✓ 溶連菌感染症には抗生剤の内服(10日間)が有効で、心膜炎・心筋炎を予防することができます。残念ながら、慢性腎炎・紫斑病は予防できないようです。罹患後一か月くらいでの尿検査がお勧めです。また数か月間は、尿の色をよく観察しましょう。
- ✓ のどが痛くて食事が摂れないときもありますが、スポーツドリンクを少しずつ飲んでしのぎましょう。あまりに水分が取れない場合は、点滴や入院治療も必要になるかもしれません。
- ✓ 薬を飲み始めて24時間たち、熱が落ち着いていれば、学校への登校・保育園への登園も可能です。

～～お知らせ～～

インフルエンザワクチン接種について

- ◎ 当院では、10月15日(土)よりインフルエンザワクチンの接種を再開します。今シーズンは、来年1月末までの接種予定です。
- ◎ 税込の料金は、

6か月～2歳	1620円×2回
3～12歳	2700円×2回
13歳以上	3240円×1回

 池田町在住の65歳以上の方は1000円×1回
(他市町村の方は役場で還付される場合があります)



- ◎ 2回接種する方は、間隔を3週間あけることをお勧めします。なお、13歳以上でも、ご希望の方は2回接種することができます(65歳以上の方の町からの補助は1回のみとなります)。
- ◎ 基本的に予約は不要ですが、多くの方が同じ日に接種を希望された場合は、品切れになることもあります。ご希望の方は予約が可能ですのでご相談ください。
- ◎ 2回目(13歳以上では1回目)の接種後2週間程度で予防効果が得られ、5か月間維持されるとのことです。

スタッフより

お陰さまで、一周年を迎えることができました。これからもよりよい医療サービスを地域の皆様に提供できるように、努力いたします。普段は院内で私を見かけることはほとんどないと思いますが、時々受付に立っておりますので、お気軽にお声かけ下さい。これからはすずらん内科クリニックをよろしく
お願いいたします。事務長 塩月 寿志

すずらん内科クリニック 院長:塩月 記代
しおつき のりよ
☎0261-85-2246 FAX 0261-85-2247
ホームページ <http://suzuran-clinic.jp/>
フェイスブックページもあります。

